

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2012.08.No180

8月号

目次

『建築士の日 イベント』を終えて…1
青年委員会ブロック協議会活動…2
道士会の動き……………4
実行委員会報告……………5
〔総務・事業〕
青年・女性の怒……………6
〔No.55 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会〕
支部だより……………7
〔北広島・苫小牧・中標津〕
information……………8

URL <http://www.h-ab.com/>

『建築士の日 イベント』を終えて

青年委員会 委員 松本 純

6月30日（土）、7月1日（日）の二日間に渡り、札幌駅前通り地下歩行空間『チ・カ・ホ』北4条展示空間にて、青年委員会主催『建築士の日 イベント』を開催いたしました。



『建築士の日』の由来、これまでの取り組みについては、6月号で針ヶ谷委員長が触れておられますので省略いたしますが、本年はより積極的なイベントを行い、建築士会をアピールするものとなりました。

～イベントの目的・内容～

- ① 建築士の仕事を、一般市民の方々に知っていただくこと
- ② 建築士会の活動を、一般市民の方々に知っていただくこと
- ③ 未来を担う子供たちに建築士を目指したいと思っていただくこと

これらを実現するために、会場内に建築士や建築に関わるお仕事を、疑似体験するコーナーを設けました。

体験したお仕事に見合った分のお給料を、独自のイベント通貨【チーク】で渡して、会場内の縁日コーナーで好きな景品と交換をしてもらうというスタイルです。

幾つかの支部や他団体に協力をいただき、4つのお仕事体験コーナーを設けました。

- ① 理想のお家を描いてみよう (札幌支部)
- ② 折り紙建築 (釧路支部)
- ③ ブロック玩具でまちづくり (旭川支部)
- ④ 瓦造り体験 (島根県 石州瓦工業組合)

加えて、『建築何デモ相談コーナー』や『建築士会活動パネル展示』を行い、より幅広く建築士会を

アピールする事に努めました。

～イベントの様子～

初日、10時に開場しました。事前のPRも行っていましたが、何分初めての試みです。どれくらいの来場者がいらっしやるのか、期待と不安で一杯でした。

お昼過ぎまではお子様連れの歩行者も少なかったのですが、その後歩行者が増えるにつれて、先ず子供たちが飾ってあるブロック玩具のまちに興味を持ち、近づいて来てくれました。そこで、保護者の方に簡単な説明をすると、殆どの方が参加をして頂き、2日間の内の何度かは、満席の状態が続くという嬉しい状態もありました。

笑いながらブロックを組み立てる子、真剣な顔でカッターを使い折り紙建築を作る子、お母さんと相談しながら絵を描く子、力を込めて土を型に入れる大人の方、どの参加者も本当に楽しそうでした。2日目の午後5時に終了するまで、合計来場者数は『341名』と非常に多くの方に参加して頂きました。

将来、子供達が自分の職業を考える時、今回のイベントの事を思い出し、建築士を目指してくれば、このイベントが大成功になるのだと思います。又、そうなるように、来年以降も継続するべきであると青年委員一同、想いを一つにしたところです。



道南ブロック

ブロック長

森 勝利 (日高支部)



道南ブロックは、函館・檜山・室蘭・苫小牧・日高の5支部と、構成支部数は少ないですが、年4回、協議会を開催しています。

今年は、第37回(社)北海道建築士会全道大会(函館・桧山大会) 青年サミットの担当ブロックとして、地元函館支部による企画・立案をベースに、メーリングによる情報交換や道青年委員会での議論を踏まえながら、テーマも早々に『Road to Rebirth—歴史的町並みの今を歩く—』に決定するなど、開催に向けて着々と準備を進めてきました。

また、6月9日(土)には、第2回道南ブロック協議会を「プレ青年サミット」と位置付けて開催しました。

当日のスケジュールにあわせて、会議室で趣旨説明等を行った後、実際に「まち歩き」を行いました。様々な課題を洗い出すことができました。

『事件は会議室で起きてるんじゃない。現場で起きてるんだ!』という名ゼリフを思い出しました。



青年サミット開催まで残すところ、1カ月足らずとなりました。

懇親会では、函館支部渾身のマグロの解体ショーも予定しています。

私も今から楽しみでなりません。

道央ブロック

ブロック長

南雲 勇次 (千歳支部)



道央ブロック協議会は道央圏の11支部にて構成されており、平成24年度の活動のキーワードとして「絆・連携」を掲げており、年3回の協議会を開催しています。

「衣・食・住」の一端を担う者の集団として、全ての人に安心を提供する役目を建築士は背負っていると思います。いざという時に一人では限界があり他人の為に安心を生み出す事は不可能であり、常日頃から培っている連携や仲間という関係が大きな力を発揮します。

道央ブロック協議会のメンバー一人一人が積極的に関わりを持ち、支部間の垣根を越えた活動を行う事で連帯感が生まれ、メンバー同士の絆へと醸成されていく事で、それぞれの地域でも活発に社会貢献が出来ると考えております。



平成24年 第1回道央ブロック協議会(札幌)

CUD(カラーユニバーサルデザイン)について研修会を開催し、色弱者を含め様々な方に見やすいように配慮された、配色を含めた視覚情報のデザインについて勉強させて頂きました。



来年度は全道大会を道央ブロック協議会メンバーである恵庭支部で主管する事が決まっております。

道央メンバーが一丸となって青年主催である青年サミット、更には本大会に向けて活動していきます。今後とも道央ブロック協議会を宜しくお願い致します。

道北ブロック

ブロック長

土田 浩貴 (上富良野支部)



本部青年委員そして道北ブロック長として半年が過ぎました。道北ブロックでは第1回の協議会も無事に終わり2回目は北空知支部、3回目は名寄支部の予定です。第1回目の協議会は道北ブロックの暗黙のルール…?新ブロック長の地元支部開催と言う事で上富良野支部にて行いました。統一事業決定前と言う事で、上富良野駐屯地施設の見学をしました。宿舎等は昭和50年代に建てられた物が大半で改修工事を繰り返していると言う説明を受けました。戦車や装甲車、特殊な装備をした車両、一部撮影をしてはいけな車両も見せてもらいました。

今年度と来年度の統一事業では各支部の街歩き。各支部の仲間の顔は知っている方達ばかりなのですが、意外と各支部の街並みは知らない事が多いと思ひ、又、今後商店街や駅前開発が行われる地域もあると聞き道北ブロックの青年達が街を歩き、現在の街の良い所や残して欲しい所、改善した方がいい所等を協議して、各支部の街の開発のお手伝いができればと言う思いで成果品として残していきたいと、この統一事業に決めました。

道北ブロックの仲間達は頼りになり、そして何より楽しい方達ばかりなのです。

団結力、結束力では道北ブロックが全道で1番だと思っております。

道北ブロック事業方針

- ・ブロック活動の推進
- ・協議会への積極的参加。他支部との連携を密にする
- ・建築士会の知名度を上げる為、地元地域の方々と交流を図る



道東ブロック

ブロック長

山田 大樹 (十勝支部)



私は平成24年度から、道東ブロック長をつとめさせていただいている、十勝支部の山田と言います。道東ブロックは、道東10支部からなるとても広いブロックです。(本当、広いんです!)

年に3回、道東ブロック協議会を開催し、みなさんと交流を深め道東サミットの開催や、独自事業の道東パネルラリーを継続しています。

道東の活動の中でも特に有名なのは、第3回協議会の通称「湯けむりサミット」と呼ばれるイベントです。これは毎年11月の初め、足寄町オンネトーの温泉宿で開催されるもので、露天風呂でビールを飲み、星空を見ながら交流を深めその後はとても美味しい(?)「闇鍋」を食べて夜が明けるまで語り合うというものです。

「闇鍋」は各支部が鍋の具材を持ち寄りますが、昔はチョコレートやグミなど、とんでもない具材を持参する支部もあり、暗闇の中あちこちから悲鳴が聞こえてきたとか…。そしてある時は、協議会の次の日に雪が降り、夏タイヤで来ていて帰れなくなった支部もあったそうです。

そんな数々の歴史を持つ「湯けむりサミット」は今年でなんと20周年を迎えます。20年の節目となる今年、青年委員を始め、道東のOBの皆様もお誘いして盛大にやる予定です。

多くの皆様のご参加をお待ちしています!(ちなみにここは、携帯電話が通じませんので・・・)



地域実践活動の様子

道本部の主な行事予定（8月）

- 4日 第4回運営委員会
- 11日 第3回まちづくり委員会
第4回事業委員会
- 18日 第3回情報委員会
- 24日・25日 (社)北海道建築士会全道大会(函館・松山大会)
青年サミット(24日)
分科会・式典・基調講演・懇親会(25日)
- 25日 第4回理事会

関係機関等会議出席状況（7月）

- ◆(社)青森県建築士会北五大
(開催日) 7月7日(土)・8日(日)
(青森) 高野会長 吉木副会長出席
- ◆(公社)日本建築士会連合会理事会
(開催日) 7月25日(水)
(東京) 高野会長 石川副会長出席

**(社)北海道建築士会全道大会(函館・松山大会)
参加者のみなさまへ**

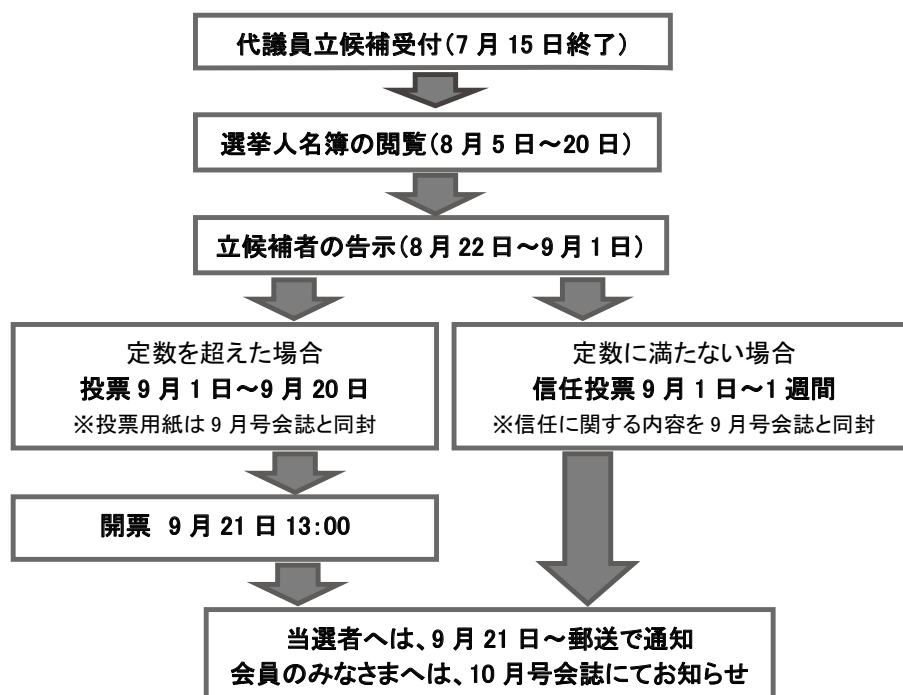
- ◆B分科会「ゆるやかな まち育て」に参加される方
午前中(25日)に街歩きをします。(希望者のみ)
受付: 10:00~10:30/街歩き: 10:30~12:00
大会参加者受付場所(3階ホワイエ)にお越しください。
*分科会(13:00~)からの参加もできます。
*詳細は、HPをご覧ください。
- ◆「女性建築士の集い」を開催します。
開催日 8月26日(日) 8:30~14:00
申込締切 8月10日(本部事務局まで)
*詳細は、HPをご覧ください。

道本部の主な委員会報告

- ◆第2回女性委員会
(開催日) 6月23日(土)
(議案)
1) 全道大会分科会について
2) 女性建築士の集いについて ※8月26日開催
3) 全国大会について
- ◆第6回まちづくり委員会応急危険度判定制度検討部会
(開催日) 6月29日(金)
(議案)
1) 北海道建築士会応急危険度判定応援マニュアルについて
2) 連絡網の整備について
- ◆第3回青年委員会
(開催日) 6月30日(土)
(議案)
1) 青年サミットについて
2) 全道大会分科会について
3) HP及びMLの運営方法について
- ◆女性委員会全道大会分科会及び子どもと建築部会合同会議
(開催日) 7月21日(土)
(議案)
1) 全道大会分科会の運営について
2) 全道高等学校家庭科教育研究協議会、住生活グループ別研修会の運営について
3) その他
- ◆第3回総務委員会
(開催日) 7月21日(土)
(議案)
1) 支部との連携強化について
2) 組織運営(会員拡大)について
3) その他

〈代議員選挙今後のスケジュール（予定）〉

※詳細は、「北海道建築士No.179」7月号及び7月号同封の「代議員選挙についてのお知らせ」をご覧ください



総務委員会 技術者の育成

副委員長

鈴木 徹 (十勝支部)

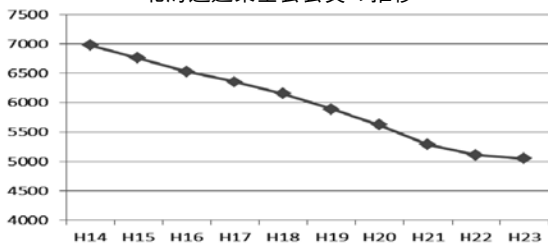


総務委員会では、会員数の現状把握と会員増強についての話し合いが行われています。会員数は、この10年間で約2000人が減少しています。また、年代別では、50歳以上の割合が60パーセント以上を占め、20歳代の会員数が100人以下というのが現状です。このことは、建築士会の将来を考えると、危機的な状況にあることは明らかです。早急に具体的な対策を講じなければならない時期に来ていると思います。委員会での具体的な話し合いはこれからですので、個人的な考えですが述べたいと思います。

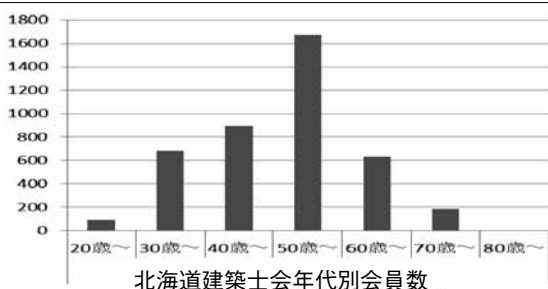
入会を勧めるときによく言われるのが、「どんなメリットがあるの?」です。メリットは、人によって感じ方が違うので一概には言えませんが、技術者としての原点に戻って考えれば、技術の向上に役立つ会であることだと思います。ごく当たり前のことですが、最新の技術情報は、インターネット等により手軽に得られる時代です。情報量とスピードではとても敵うものではありません。しかし、建築士会には、豊富な経験と高い技術を持った会員が多く在籍しています。このことは大きな知的財産といえます。

今、社会が求めていることは、技術者の育成です。会員自らが講師となって、若い技術者に、経験や技術を伝えることができれば、会員増強はもとより社会的に大きな役割を果たすことに繋がると思います。伝える具体的な方法はいろいろとあると思いますが、たとえば、実務で困っていることや疑問に思うことを持ち寄り、継続的に勉強できる小さなグループ「寺子屋」のような場を作り、地道に技術者を育成するような活動ができれば、将来に繋がってゆくのではないのでしょうか。

北海道建築士会会員の推移



北海道建築士会年代別会員数



事業委員会 寒地講習会について

副委員長

河村 和義 (札幌支部)



寒地建築技術講習会に使用されるテキストは、北海道で住宅の技術向上及び最新技術や工法を建築技術者に習得させる目的として、今から53年前に北海道の建築技術者向けの技術書として作成し講習を行ったことに始まり、以降一度も途切れることなく毎年発行されています。

初歩的な寒地住宅の入門書として、また民間住宅への技術の普及の為、北海道建設部住宅課が昭和34年から「寒地住宅読本」として編集し一般向けに発行しました。

昭和40年頃には、北海道・東北地方における二級建築士試験の受験者用テキストとして活用され、寒冷地ならではの建築技術の特徴を受験者に伝えてきました。(当時二級建築士問題は、北海道・東北の寒冷地とその他の地域では異なる試験問題であった)

昭和47年頃からは、現在の北方建築総合研究所の前身である北海道寒地建築研究所がテキストの編集を担当し、一般技術者向けの講習会としてスタートを切りました。この頃から北海道建築士会も講習会運営を担うことになりました。

この間、北海道における住宅建築技術は飛躍的に向上し、高断熱・高气密の北方型の住宅技術は全国に誇れるものとなりました。

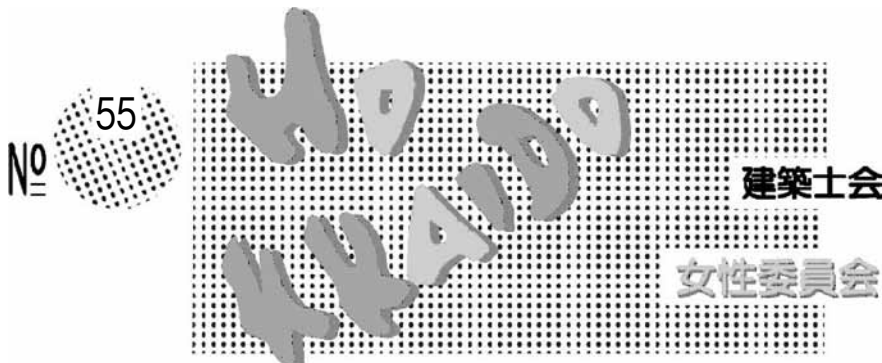
このように大変意義のあるこの講習会も年々開催支部も受講者数も減少しております。

そこで事業委員会では運営方法を見直し、支部がその事情に応じ、最も都合の良い会場や開催日時、受講料等設定できることと共に、受講者数が多いほど支部の収益が上がる仕組みを検討しております。これにより、従前より受講者が増加することや、これまで寒地講習を開催していない支部も開催が期待でき、会員のCPD単位取得の機会が増加すると考えています。

本部は、講習会テーマを定めてテキストの編集印刷を行い、支部に提供するほか、支部へ講師の派遣を行うことで、講習会開催を支援しようというものです。

今、事業委員会では、各支部へ寒地講習の見直しにかかる意向調査のアンケートをまとめている所です。

寒地講習が各支部と会員のニーズに沿い、そして各支部の活性化に寄与できるよう努力している所です。各支部も継続して開催くださるよう、そして会員も受講くださるよう協力をお願いいたします。



実務に役立つ色彩セミナー —道央Aブロック活動報告—

札幌支部 新海 直美

建物のプランニングに携わっていると、空間の色合いというのはよく出てくる問題のひとつです。

「明るい雰囲気になりたい」「ナチュラルな感じ」「赤い色を入れたい」…。要望の表現も様々ですし、こちらがお客様にお伝えする際に、色を言葉で表現するというのは結構難しいものです。

「もっとこうした方が、馴染むのに」「この組み合わせは合わないかも」という場合、どうやって表現すると、お客様により伝わりやすいのか…。私自身、伝え方に苦慮したことも多かったのですが、ならば、専門家に教えて頂くのが一番と、講師をお招きして色彩セミナーを開催しました。

平成24年6月16日、建築士会の会議室をお借りしてのセミナーでした。講師はカラーコーディネータの笹谷幸恵さん。



出席者14名でした

セミナーの内容としては、調和する色とはどのような色なのか、そこにはどんな法則があるのか、

というようなことを、布やパネルを使って、解説頂きました。



「緑」ひとつとっても様々

建物の性能が大切なのは、もちろんなのですが、最終的に表面に見えてくる部分というのは、満足度をUPする為に、とても重要な部分です。街並みに至っては色ひとつで景観が台無しにもなります。

建築士の試験などでも、明度・彩度・補色等々、色の勉強はしますが、もっと色が与える影響というものを重要視して、より具体的な手法が盛り込まれた方が良いのではないかと思います。

また、お客様に接する際に、自分に「似合う色」（パーソナルカラー）を身に付けていると印象が違うというお話もありました。

参加者に、女性が多かったこともあり、この辺りはとくに興味を持って頂けたようです（笑）

そんな様子を見ていると、お客様にも、似合う色、似合わない色というのがあるのですよ、ということから伝えてみると、興味を持って聞いて頂けるかもしれません。

楽しくて奥深い色の世界、専門職だけではなく、一般の多くの人にも知って欲しいと思いました。

歴建改修工事 現場見学会 二題

小樽支部 早川 陽子

●小樽駅リニューアル工事

（2月9日）

昭和9年に完成した小樽駅は、上野駅以北で最初のコンクリート造の近代駅。外観は左右対象の2階建、中央ホール吹き抜けの高窓からは朝から夕方まで陽が差し込みます。また先端の設備、素材であったEV（荷用）、浄化槽、ガラスブロック（床採光）などが設置されていました。

今回一番の見どころは、鉄筋コンクリートの「柱」に鉄道レールが埋め込まれていた！ことの発見。「鉄骨・鉄筋コンクリート造」の鉄骨は鉄道レールだった訳です。



JR北海道さん、伊藤組さんと「柱」を中心に

●日本銀行旧小樽支店

外壁等改修工事 （6月20日）

辰野金吾設計で知られるこの銀行は煉瓦造で外壁はモルタル塗り。内部の客溜と営業室の境に1本も柱がない大空間が魅力で、小屋組の軽量化に鉄骨を使っています。明治45年に完成し、建設費は本店、大阪に次ぐ3番目。国策において小樽が北の拠点であった事が伺えます。

今回の見どころは、建物の各部分を間近に観察できた事。小屋組鉄骨（八幡製作所製作）、コンクリートの屋根（無筋）、煉瓦層の壁（江別産？）、望楼の板金の技、軟石の窓飾りやフクロウの彫刻…等々。

どちらも当時の日本を代表する建物の設計思想と技術に触れることが出来た貴重な見学会でした。

北広島支部 全道大会へGo!



事務局長
松崎 隆志

8月25日には、全道大会(函館・
桧山大会)が開催されます。

昨年、北広島支部からは、釧路
大会へ弱小支部ではありますが、
総勢7名の参加がありました。支
部独自の活動がなかなかできてい
ない中、全道大会への参加は、支
部事業の大きな目玉事業となっ
ています。

釧路大会では、大会に参加する
のはもちろんですが、大会会場の
となりにある市立美術館で開催し
ていた「釧路が育んだ世界の画家
増田誠展」、折り紙建築で紹介の
あった市立博物館やこども遊学館
などを見学しました。また、展望
車からなる通称「ノロッコ号」に
乗って、のんびりと釧路湿原を体
感することができました。そして、
夜には炉端焼きでチョイト一杯…
と楽しい時間を過ごさせていただきました。

また、行き帰りの道中でも、あっ
ちこっちと気ままに立ち寄りなが
ら、その地域の特産にふれあうの
もおつなものでした。

今年の全道大会が開催される函
館市には、歴史的建造物も多く、
異国情緒を感じさせる街並みや、
赤レンガ倉庫などの伝統的建造物
群、ハイカラな函館を象徴する旧
函館区公会堂、食では、豊富な海
の幸、なかでも有名なイカ刺し、
夜には、世界三大夜景で有名な函
館山からの夜景など、見所がたく
さんあります。

今年も、このような出会いを楽
しみに、支部から多くの参加者を
送りたいと思います。

最後に、皆様も声を掛け合い、
全道大会(函館・桧山大会)へ
Go!

苫小牧支部 支部活動について



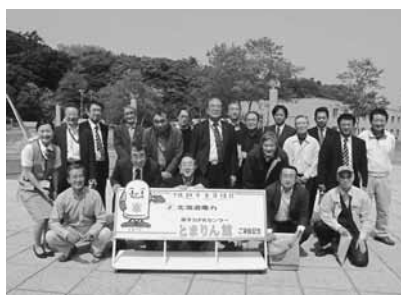
事務局長
山本 三男

今年度の事業計画の内「施設見
学会」と「親睦ゴルフ大会」を無
事終了することが出来ました。

「施設見学会」は北海道電力(株)
苫小牧支店様の御協力で泊発電所
を見学してきました。当日の苫小
牧は霧雨が降って6月中旬らしか
らぬ肌寒く(苫小牧の気候らしい
のですが)申込会員の集合に辞退
者が出ないか心配しましたが、予
定通り出発することが出来ました。

片道約3時間のバスでの行程で
無事泊へ到着。まず「とまりん館」
で概要説明を受け、見学者の身分
証明確認後バスで発電所へ移動。
敷地全景と安全対策等の説明を受
け3号炉内部へ見学に入りました。
当時は3炉共停止状態でしたが、
点検整備のため多数の作業員が
働いており、その規模の大きさに
びっくり。内部見学終了後、展
望台へ移動し非常時の対応施設や
機器類の配置状況の説明を受け再
び「とまりん館」へ。館で原子力
展示、地域展示を見学し泊を後に
しました。

「親睦ゴルフ大会」は、今年で
30回目の開催になります。年々参
加者の減少で例年にない少人数で
の大会となりました。特に若い人
のゴルフ離れと業界の不況が影響
していると思います。当日は天候
も良く参加した会員は、快い汗を
流して親睦を深めました。終了後、
来年以降もコンペ継続の話があ
り幹事として心強く感じました。



中標津支部

平成24年度
建築士の日記念事業



青年委員
村山 賢司

今年もこの季節がやって来まし
た。毎年7月1日の『建築士の日』
に併せて当支部では恒例事業の植
樹祭を今年は中標津町で開催する
予定だったのですが、今回は植樹
に代わり地元産樹齢73年!大口徑
カラマツ材の提供を地元製材会社
より譲り受け、バス停用ベンチを
制作し中標津町に寄贈する運びと
なりました。73年前カラマツ材を
使用したのは、今後50年以上経っ
た大口徑カラマツ材が地元から伐
採される見込みであり、その有効
的な活用方法・利用価値・材料の
狂い等を検証していくためでもあ
りました。

6月24日(日)小雨の降る中、
朝早くから総勢19名によりベンチ
制作スタートしました。前もって
設計寸法にカットされた材料を
ペーパー研磨・防錆塗装・組立
工程を経て無事完成しました!途
中塗料が乾きづらく次の工程に進
めない感もありましたが、なんと
か午前中に完成し午後からのお楽
しみパークゴルフ大会&懇親会も
天候が落ち着いてくれたおかげで無
事終了(ホッ!)今回の事業で使
用した大口徑カラマツ材が今後地
場産製材として安定供給できれば
地元での有効活用に期待でき、カ
ラマツ材の地産地消を目指すべく
期待のベンチ3台が今後どのよう
な変化を見せるか乞うご期待!

最後に当支部の皆さん大変お疲
れさまでした。



CPD認定プログラム（7月認定）

- ◆第37回(社)北海道建築士会全道大会青年サミット
《日程及び会場》 8月24日(金) 13:30~17:30
函館市地域交流まちづくりセンター
《単位数》 4単位
- ◆第37回(社)北海道建築士会全道大会 分科会
《日程及び会場》 8月25日(土) 13:00~15:00
ロワジールホテル函館
《単位数》 各2単位
- ◆第37回(社)北海道建築士会全道大会 基調講演
《日程及び会場》 8月25日(土) 16:45~18:15
函館北洋ビル
《単位数》 2単位
《上記大会に関する問合せ先》(社)北海道建築士会
TEL 011-251-6076
<http://www.h-ab.com/>
- ◆景観スペシャリスト養成講座-2012-
景観から“まちづくり”を考える編
第1回持続可能な地域開発と環境マネジメント
《日程及び会場》 8月1日(水) 18:30~20:30
札幌エルプラザ
《単位数》 2単位
第2回住宅地の景観とまちづくり
《日程及び会場》 9月5日(水) 18:30~20:30
北海道大学 工学部
《単位数》 2単位
第3回景観整備機構による景観まちづくりと人づくり
《日程及び会場》 9月25日(火) 18:30~20:30
札幌エルプラザ
《単位数》 2単位
《問合せ先》(社)北海道建築士会札幌支部
TEL 011-232-1843
<http://www.hks-hp.net/>
- ◆平成24年度住宅金融支援機構
「適合証明技術者業務講習会」
《日程及び会場》 旭川市: 8月24日(金)
道北経済センター
北斗市: 8月28日(火)
北斗市総合文化センター
釧路市: 9月13日(木)
釧路市生涯学習センター
札幌市: 9月26日(水)
北海道第2水産ビル
全日 9:30~17:00
《単位数》 各5単位
《問合せ先》(社)北海道建築士事務所協会
TEL 011-231-3165
<http://www.do-kjk.or.jp/>

図書案内

- 2011
実務に役立つ寒地住宅性能向上
リフォームのポイント
.....
◎第54回寒地建築技術講習会テキスト
◎A4判・68頁 ◎定価:2,500円
◎発行日:2011年刊
◎発行:(社)北海道建築士会
- 2010
実務に役立つ寒地住宅の環境整備の
ポイントと解説
.....
◎第53回寒地建築技術講習会テキスト
◎A4判・68頁 ◎定価:2,500円
◎発行日:2010年刊
◎発行:(社)北海道建築士会
- 2009
実務に役立つ寒地住宅設計・施工監理の
ポイント
.....
◎第52回寒地建築技術講習会テキスト
◎A4判・81頁 ◎定価:2,500円
◎発行日:2009年刊
◎発行:(社)北海道建築士会
- 民間(旧四会)連合協定
工事請負契約約款(平成23年5月改正)
.....
◎A4判・14頁 ◎定価:700円
◎発行:民間(旧四会)連合協定
工事請負契約約款委員会
- 建築設計・監理等 業務委託契約書類
.....
◎A4判 ◎定価:1,200円/会員価格:900円
◎発行:四会連合協定建築設計・監理
業務委託契約約款改正委員会
- 改正建築士法による
重要事項説明のポイント
編集=重要事項説明内容等検討会
.....
◎A4判・80頁 ◎定価:1,300円
◎発行:(社)日本建築士事務所協会連合会
平成21年10月25日改訂版
- 実務に役立つ建築法規解説2011
編集=全道建築行政連絡会議
.....
◎第45回建築基準法講習会テキスト
◎A5判 ◎定価:3,000円

編集後記

空を仰げば太陽のまぶしい季節、夏真っ盛りですね。
各支部の皆様、建築士の日・その他夏のイベント等、ひと段落されたことでしょうか。お疲れさまです。
今月はいよいよ全道大会(函館・松山大会)が開催されます。
日頃の活動で感じたこと等々をお持ち頂き、友と語り合うもよし、歴史ある街並みを散策し物思いに更けるもよし。きっと、有意義な大会となることと思います。
函館にてお会いすること楽しみにしています。
情報委員会 道塚 勉

情報委員会委員長/岡田 隆
副委員長/三浦 浩・天城 秀典・神田 光英
委員/森田ゆう子・岡田 光弘・山下 聡
用田 史門・高松 徹・道塚 勉

北海道建築士 No.180号

印刷 平成24年7月/発行 平成24年8月

編集・発行 社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011)251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011)811-7151番